

<報告>

第13回世界レジャー会議報告

師岡文男¹

A Report on 13th World Leisure Congress

Fumio Morooka¹

2014年9月7日(日)～12日(金)、映画「フォレストガンプ」のロケ地で有名になったアメリカ合衆国アラバマ州モービルベイ (Mobile Bay) のコンベンションセンターと南アラバマ大学 (University of South Alabama) で「第11回世界レジャー会議」が開催された。期間中、アメリカ合衆国スポーツアカデミーの見学も行われた。



開会式

この会議は、1970年に「レジャー憲章」を制定し、現在国連のレジャー問題アドバイザーを務める世界レジャー機構 (World Leisure Organization: WLO: 1956年創立のIRA国際レクリエーション協会—1973年WLRA世界レジャー・レクリエーション協会に改名、がその前身。2007年に現在の組織名に改称) が原則2年に1度開催する世界最大のレジャー・レクリエーションの国際会議で、第1回大会がシャトーレイク・ルイーズ (カナダ) で開催されて以来、第2回シドニー (オーストラリア)、第3回ジャイプール (イン

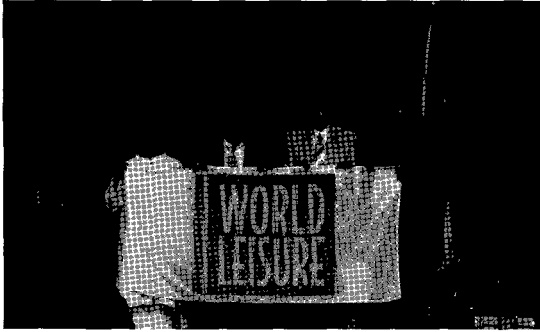
ド)、第4回カーディフ (英国)、第5回サンパウロ (ブラジル)、第6回ビルバオ (スペイン)、第7回クアラルンプール (マレーシア)、第8回ブリスベン (オーストラリア)、第9回杭州市 (中国)、第10回ケベック (カナダ)、第11回チュンチョン (韓国)、第12回リミニ (イタリア) と回を重ねてきた。

アメリカでの開催は会議名が改称されてから初めてとなる。総合テーマは「人類の現状の改善」で、6日間日替わりのサブテーマが下記のように掲げられた。

- 第1日 Health and Wellness
- 第2日 Economic Development
- 第3日 Environmental Stewardship
- 第4日 Emerging Technologies
- 第5日 Arts, Culture, Sports and Recreation
- 第6日 Building A Livable City

期間中、7人のキーノート・スピーチと273題の論文発表、58のポスター発表、17団体のブース展示が実施された。今回日本からは約20名の参加があり、日本レジャー・レクリエーション学会の田中伸彦理事 (東海大学教授) はじめ12名の方々が論文発表とポスター発表を行った (世界レジャー機構の website に抄録が掲載されている)。

なお、世界レジャー機関は、今後下記の世界レジャー会議の開催を決定している他、第3回ワールド・レジャー・ゲームズをマカオで2019年に開催する予定である。



閉会式（次回開催地南アフリカ ダーバン市の代表に WLO 旗の授与）

- 2016年 第14回世界レジャー会議
南アフリカ ダーバン市 (Durban) 6/27-30
- 2018年 第15回世界レジャー会議
ブラジル サンパウロ市 (Sao Paulo)

1964年10月2日～7日に大阪・京都で世界レクリエーション大会を開催して以来、日本で大規模な国際レジャー・レクリエーション研究大会は開催されていない。日本のレジャー・レクリエーション研究の質の向上と国際化のために、アジアですでに4回も開催された世界レジャー会議を近い将来日本で開催することが望まれる。筆者は関係団体と2020年に仙台か東京での開催を目指したが、最終段階で自治体の了承が得られなかった。今後、2022年、2024年の開催を目指して誘致活動を継続していく予定である。

<参考 URL >

世界レジャー機構 (WLO) www.worldleisure.org